■ ABSTRACT OF JAPANESE PUBLICATION OF UNEXAMINED UTILITY MODEL APPLICATION No. 59-138053 (JP59-138053U)

A disc holder of an automatic-loading record player, in which a disc is held by the disc holder and is inserted in a player casing so that the disc is reproduceable, includes a detector, the disc holder allowing discs having different sizes to be inserted, the detector regulating an insertion position of an inserted disc at an outer circumference thereof and detecting whether the inserted disc is set at a correct position.

138053 公開実用

(9 日本国特許庁 (JP)

卯実用新案出額公開

型 公開実用新案公報 (U)

昭59—138053

\$i Int. Cl.3 G 11 B 19 10 17 04

識別記号

庁内整理番号 7346-5D

6743-5D

砂公開 昭和59年(1984)9月14日

審査請求 未請求

(全 頁)

54ディスク保持器

图58-29040

21 実 昭58(1983)3月2H 22出

72考 案 者 城所時雄

三鷹市下連雀6-17-5日本コ ロムビア株式会社三鷹事業所内

九出 願 人 日本コロムビア株式会社

東京都港区赤坂 4 丁目14番14号

有代 理 人 弁理士 山口和美

明 細 書

- 1. 考案の名称 ディスク保持器
- 2. 実用新粲登録請求の範囲

デイスク保持器にデイスクを配設し、該デイスク保持器をプレーヤ筺体内に挿入して再生状態とするようにしたオートローデング型レコードプレーヤに於て、上記デイスク保持器にサイスクの併入されたデイスクの挿入で置を規正すると共に上記挿入を検出してスクが正しい位置に挿入されたか否とするディスク保持器。

3. 考察の詳測な説明

資声信号や映像信号をディスクに侵被的又は光

(1)

学的手段を用いて記録再生するディスクはよく知られている。

とのようなデイスクをプレーヤ内に自動的に再生位置にローデングするためにはキャデイはから呼ばれるデイスク保持器にデイスクを納め、設ティスク保持器をデイスクプレーヤ内に押し込むディスクスクプレーヤ内の駆動モータによつて設定する。 が代表を再生状態位置に持ち来たして発行したものである。

この様な従来のデイスク保持器の構造は第1図 に示す如く解成されている。

即ち、沼1宮に於て、1はデイスクブレーヤ電子体で、例えば陰体的面にデイスク保持器2を挿入排出出来る窓3を有する。デイスク保持器2にはデイスクの中心孔に図示せざるもターンテープルのスピンドルを嵌揮させるための切解部4と、例えばEPレコード盤を案内する第1の段部5aを有し、更に上記第1の段部より大きい径を有す



る、例えばLPレコード盤を案内する第2の段部 6と、該LPレコード盤の外周と接する第2の円 周部 6a を有する。

デイスク保持器 2 は上述の如く構成されているために、レコード盤の外周部を第1及び第2の段部の円周部に合せるようにしているために、該円局部 5a、 6a は真円度の高い加工が必要であり、これらが少し狂うと円周部とレコード盤外周寸法の相違によつてレコード盤がガタを生ずる欠点があった。

第2図に於いて第1図と同一部分には同一符号を付する、第1の段部5の外周部5aは円周状とされず第1の段部と直交する線と成される、第2の段部6の外周部6aも同様に構成されているために第1図のように真円度を正確にした金型を必要と



しない。更に、第1の段部5と第2の段部6に例 をは30 cm の直径を有するLP繰9と17 cm の直径 を有するEP繰10を乗せた場合にレコード盤の 中心孔9a、10aが同一場所に来るように第1の 段部にピン7a、7bを第2の段部にピン8a、8b を値立するようにする。

かくすれば例えば第3図(a)に示すように30 m盤をデイスク保持器2に挿入した場合は2本のピン8a、8bによつて30 m盤デイスク9の外周部が規正され、17 m涨をデイスク保持器2に挿入した場合は第3図(b)に示すように2本のピン7a、7bによつて17 m涨10の外周部が規正される。よつて第1及び第2の段部の巾W1、W2を30 m盤及び17 m迷の直径に正しく合せなくても正しい位置規正を行うことが可能となる。

然し、上記構成によるとEP盤 10 を第 1 の段 部 5 に伸入したとき第 4 図の一部側断面図に示す ように第 1 の段部 5 に槌立したピン 7a、 7b の頂 部を来り上げて弟 2 の段部 6 上にEP盤の先端部 が挿入されるような幣書を生ずる。



本考案は淑上の如き欠点を除去したデイスク保 持器を提供することを目的とするもので第1の段 部にEP機が正しい位置に挿入されたか否かを検 出し得る検出手段を配設して、EP盤が誤つて挿 入されたときにローデング等を行なわないように したディスク保持器を提供することを目的とする ものである。そして上記目的は本考案によれば、 デイスク保持器にデイスクを配設し、該デイスク 保持器をプレーヤ筐体内に挿入して再生状態とす るようにしたオートローデング型レコードプレー ヤに於て、上記デイスク保持器にサイスの異なる ディスクを弾入し、該挿入されたディスクの外周 で挿入位置を規正すると共に上記挿入されたデイ スクが正しい位置に挿入されたか否かを検出し得 る検出手段を有してなることを特成とするデイス ク保持品を提供することで達成される。

以下、本考案を第5図乃至第7図について詳述する。

尚第13万至第4図と同一部分には同一符号を付して重複説明を省略するも、第5点は本考案の

(5)



デイスク保持器の斜視図、第6図(a)(b)は第5図のデイスク保持器の動作状態を示す側断面図、第6図(c)は第6図(a)の一部を断面とする平面図であり、第5図において、デイスク保持器2の上部には蓋11を適宜手段で固着する。

更に本考案に於ては第1の段部にEP盤 10 が 正しい位置で挿入されたか否かを検出するための 飯出手改 24、 25 を設ける。

上記被出手段の一実施例としては第6図(a)(b)(c)



に示す如く構成することが出来る。第1の段部5のEP盤10が挿入したときにEP盤10の面積内に透孔26、27を穿ち、該透孔26に突出するような可動ピン28、29を第1の段部の下端に枢軸30、31によつて回動自在に枢着する。ピン28、29はL字状に形成し、ピン28、29と反対側をシャッタ板32、33とする、又、発光素子34、35と受光素子36、37を有するフォトインタブラタを第1の段部5の下端に該シャッタと対向するように配置する。

上述の如き構成に於ける動作を第6図(a)(b)(c)及び第7図の系統図を用いて説明するに第6図(a)に示す様にEP盤10が矢印Aで示す様に第1の段部5に挿入されるとEP盤10の外間部は検出手段24、25のピン28、29に対接し、ピン28、29は枢軸30、31を中心に回動して第6図(b)の様に時計方向に回動してシャンタ32、33は発光素子34、35よりの光を第6図(c)の如く遮断して受光素子36、37への入射を阻止する。

受光宏子 36、37 及び22 よりの検出々力は第



公開実用 昭和59- 138053

7 図に示す様にオア回路 38 に与えられ、すべての出力が遮断された時は " L , 信号を出力し、17 cmの E P 離が挿入されたことを検出し、" H , であれば E P 盤でないことを検出する。同様に第 2 の段部に 30 cm の L P 盤 9 が挿入されたときには受光案子 21、23 の出力がオア回路 39 に与えられているため該オア回路出力は " L , で L P 盤が挿入されたことを " H , で 挿入されていないことを 使出する。アンド回路 40 にはすべての受光素子 36、37、22、21、23 の出力が入力され、アンド回路 40 の出力端 47 は " L , でレコードが有ることが、" H , でレコードが無い状態を検出する。

オア回路 38 の出力はオア回路 43 の一方の入力 端子に、オア回路 39 の出力をインバータ回路 41 を通した出力を上記オア回路 38 の他方の入力に 加えることによつてオア回路 43 の出力端 45 には " L , では 17 aのEP盤が " H , では 30 aのL P盤が神入されたことを検出する。

更にオア回路 38 と 39 の出力とアンド回路 40



の出力をインパータ回路 42 に適した出力をアンド回路 44 に加えることで該アンド回路 44 の出力端 46 には、L、でレコード位置が正常であることが、H、で異常位置であることを検出することが可能となる。

本考案は級上の如く解成させたのでEP盤の挿入時に正しい位置に挿入されない幣害が除去され、正しい位置に挿入されないまゝでローデングされてディスク1を破損したり傷けたりすることがなくその実用的効果は大きい。

4. 図面の簡単な説明

第1図は従来のデイスク保持器の斜視図、第2 図は従来のデイスク保持器の斜視図、第3図(a) (b) は従来のデイスク保持器にデイスクを挿入した時 の平面図、第4図は第2図に示したデイスク保持 器にデイスクを挿入した時の異常状態を示す要部 の側断面図、第5図は本考案のデイスク保持器の 斜視図、第6図(a) (b) は第5図の検出手段の要部 断面図でピンの動作状態を示す図、第6図(c) は第 6図(a) の一部を断面とする平面図、第7図は本考



138053 公開実用 昭和59-

案のディスク保持器のディスク検出を検出するた めの系統図である。

中 义

1 ••• プレーヤ箘体 2 ••• デイスク保持器

3 • • • 総 4 • • • 切隣 5 • • • 第1の段部

6 · · · 第2の段部 7a, 7b、8a, 8b · · · ピ

9 , 10 · · · E P 及び L P 盤

12,13,14,15,16,17,26,27 • • • 透孔

18,19,20,34,35 • • • 発光系子

21,22,23,36,37 • • • 受光案子

24,25 ••• 検出手段 28,29 ••• ピン

30,31 • • • 枢軸 38,39,43 • • • オア回路

40,44 ••• アンド回路 41,42 ••• インバー

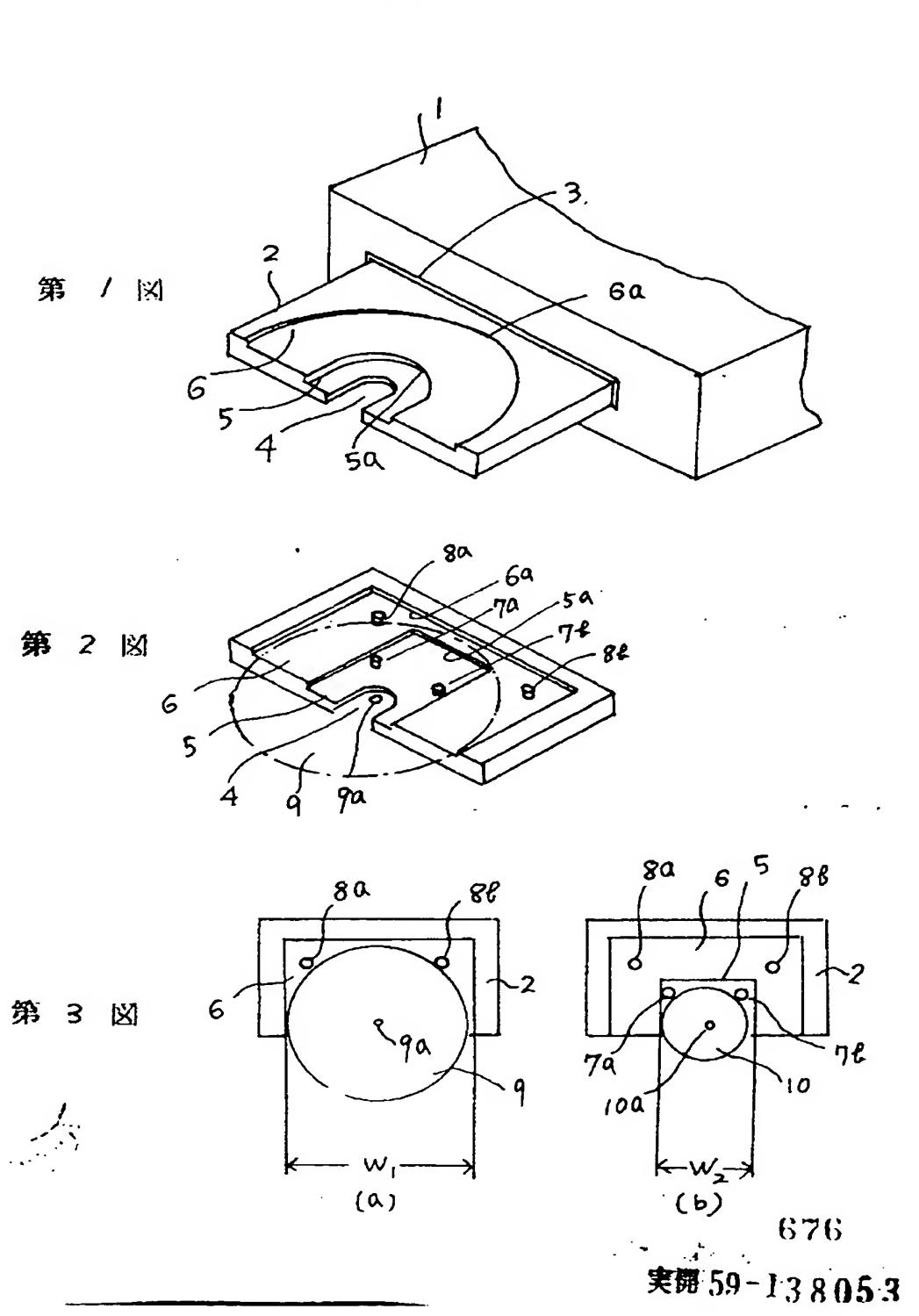
夕间路

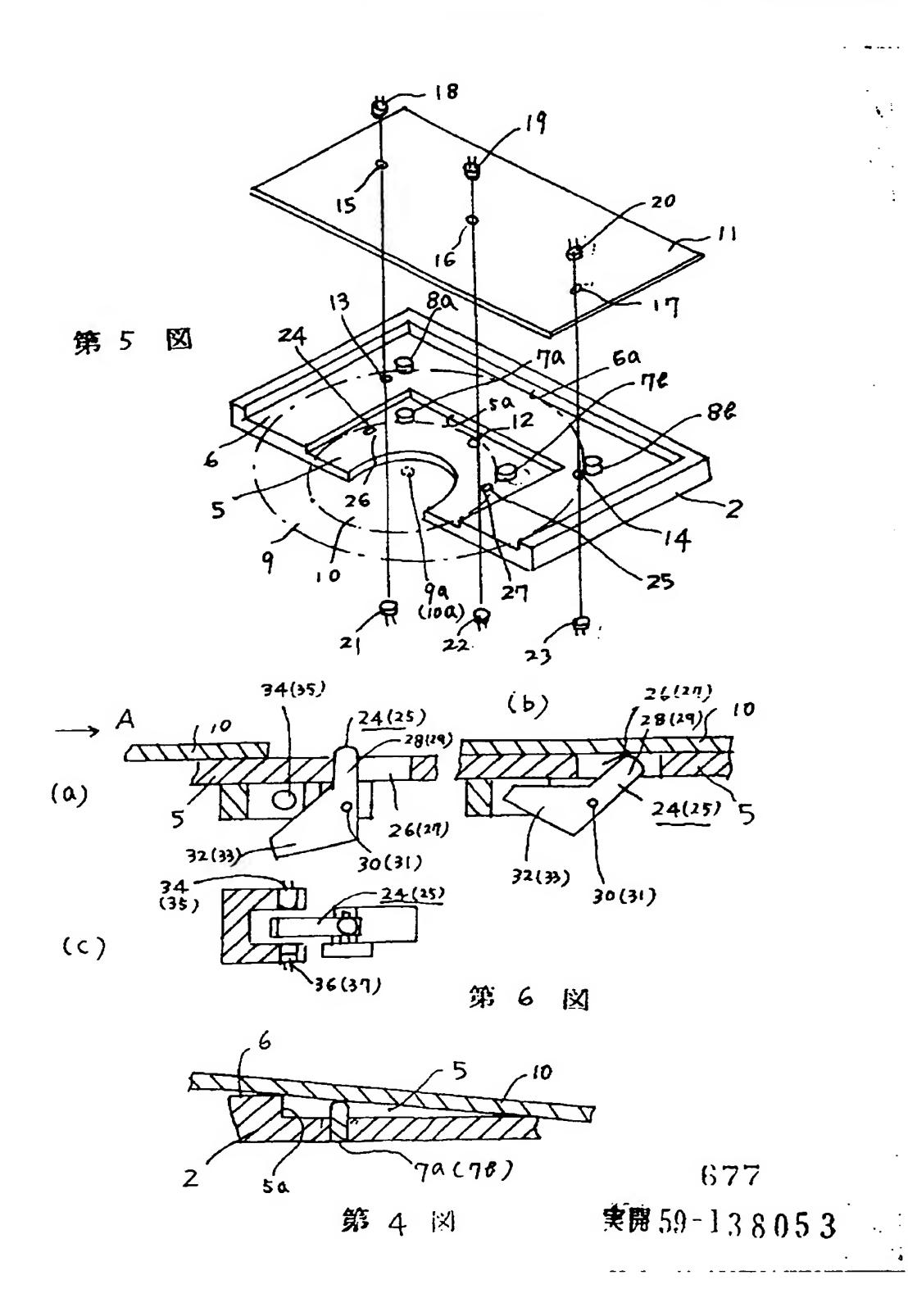
代理人 弁理士

実用和系登録出題人 日本コロムピア株式会体

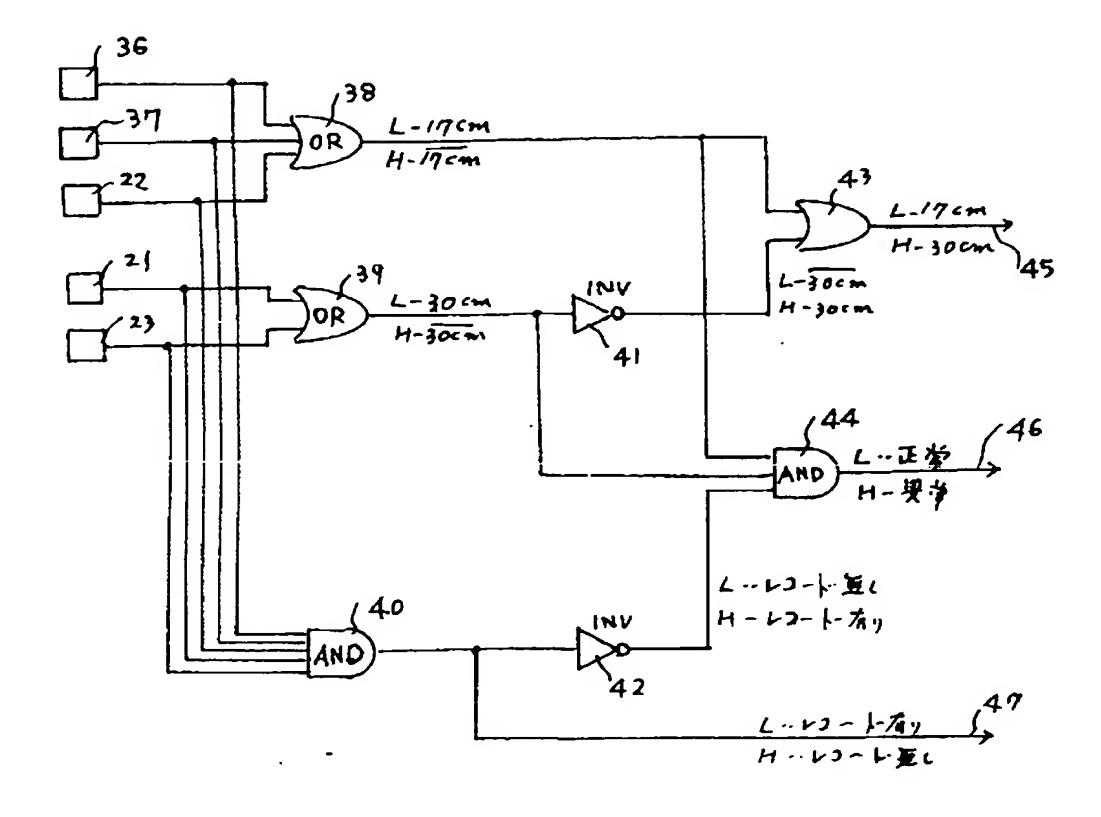
山

138053 公開実用 昭和59-





13



第 7 国

978 実際 59-13 8 05 3

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

U BLACK BORDERS
IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
FADED TEXT OR DRAWING
BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
GRAY SCALE DOCUMENTS
LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
OTHER:

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.